

半日ドック 一般料金：¥39,900-



★ご注意

各健康保険組合で補助がでる場合もありますので、各健康保険組合にご確認ください。

項目	内容説明	
身体測定	身長・体重・腹囲・血圧の測定を行います	
視力・聴力	視力・聴力（低音域・高音域2種類）の検査を行います	
眼底	眼底の血管を写真撮影します。高血圧・糖尿病など血管障害を起こす各種の病気を発見することができます。	
眼圧	目に空気を吹き付けて検査をします。緑内障を発見するための検査です。	
心電図	心臓の収縮・拡張が正常に行われているか、また心臓の栄養血管の硬化や心筋そのものの異常をチェックします。	
肺機能	息を吸ったり吐いたりして、肺の換気機能を調べます。	
腹部超音波	肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓などの臓器の状態を調べます。	
胸部X線	結核などの感染症や肺癌などの呼吸器系疾患・大動脈の異常や心肥大などの循環器系疾患による変化を主に調べます。	
胃バリウム	バリウムを飲んで、バリウムの流れ具合で食道・胃・十二指腸の動きや粘膜の状態を検査します。	
糖 尿 系	血糖	食べ物から分解された「ブドウ糖」が血中にどれくらいあるのかを検査します。糖尿病になると血糖が常に高くなり、血管を刺激してしまいます。
	尿糖	尿に含まれる糖を調べます。前回排尿してから検査時までの血糖値の状態を表します。個人差もありますが、血糖値が160~180mg/dLを超えると尿中に糖が排泄されます。
	HbA1c	過去1~2ヶ月間の血糖値の平均がわかります。高い血糖値が長く続くとHbA1cも高くなります。しかし、1回の食事がHbA1cの値に影響することはありません。
肝 胆 道 系	GOT GPT	肝臓は糖・蛋白・脂質をはじめとする各種物質の代謝や解毒作用を盛んに行う重要な臓器です。飲食や病気などで使いすぎの状態が続くと、色々なパターンの障害が起きてしまいます。この検査は肝臓の疲れ具合がわかります。
	γ-GTP	アルコールの肝障害で数値が上昇します。 女性は男性と同飲酒量で倍のダメージを受けるといわれています。
	総ビリルビン	ビリルビンは、赤血球が壊れてできる黄色い色素です。肝・胆道疾患や一部の貧血等で上昇し、黄疸といわれる状態になります。
	ALP	肝臓病・胆石・骨疾患で高値となります。
蛋白	総蛋白は血清中のアルブミンとグロブリンの合計をいいます。 肝臓病でアルブミンが作られない時や腎炎などで蛋白が尿中に出てしまっているなどが考えられます。	
脂 質 系	総コレステロール	動脈硬化・肥満・肝臓・ホルモン状態の検査です。数値が上昇しても自覚症状は殆どありません。
	中性脂肪	肥満の人に多く現れます。食事により、上昇します。 過剰になると肝臓に脂肪がたまる脂肪肝や肥満を招きます。
	HDL コレステロール	善玉コレステロールとも言われ、血管や組織に蓄積された余分なコレステロールを再び肝臓に戻す役割を担っています。低下すると、動脈硬化をきたす可能性があります。
	LDL コレステロール	HDLコレステロールとは逆に悪玉コレステロールとも言われ、動脈の血管壁にたまり動脈硬化を促進させるコレステロールです。

~~ウラにつづきます~~



項目	内容説明	
腎臓系	クレアチン	体内のたんぱく質の老廃物であるクレアチンの血中濃度を調べます。腎臓の働きが悪いと血液中に増加します。
	尿酸	本来尿酸の生成と腎臓からの排出はバランスが取れているものですが、このバランスが崩れると血中濃度が増加し、高尿酸血症となり痛風にもなっています。
	尿蛋白	腎臓の状態が悪くなると、尿蛋白が出てきます。正常な方でも生理的蛋白尿といって、激しい運動の後や高蛋白食、ストレス、月経前等に一過性に蛋白がでることもあります。
	尿潜血	腎臓病・尿路の病気で、尿中に血液が出ることがあります。
	尿比重	尿の濃さを検査することで、腎臓の機能を調べます。
	尿沈渣	尿中の固形成分を調べる検査です。
	炎症	CRP 炎症などで組織の破壊がおこると、血液中に多くなるたんぱく質です。感染症、リウマチ、外傷などの目安になります。
感染	梅毒検査 HBs 抗原 梅毒・B型肝炎の感染の有無を調べます。	
血液一般	白血球	感染等に対する防衛の役目をしています。白血病など血液の病気の他、炎症性の病気の診断や経過を調べることができます。値には個人差があるので、数値の極端な増加・減少の有無をみていきます。
	赤血球	貧血や多血症の有無を調べます。慢性的な貧血は自覚症状が軽微で気付きにくいこともありますが、心臓などに徐々に負担がかかっていきます。
	Htクリット	血液中の赤血球の割合で、赤血球数・Hctの量と組み合わせて貧血の種類を分類します。
	Hbゲドッソ	赤血球中に含まれる色素で酸素を運搬する物質です。基準より低いと貧血です。
	血小板	主な働きは止血作用です。血小板の減少により、出血傾向になります。
血液型	代表的なA B O型とRh型を調べます。(初回受診時のみ)	
便潜血	口から肛門までの消化管のどこかで出血していると、便に血が混じって出てきます。痔でも陽性になってしまいます。	
問診・診察	内科。 気になること等ありましたら、診察の際に医師にご相談ください。	

~~このほか、オプション項目については、次項ご確認ください~~

